

【重点分野－3】連合「なんでも労働相談ホットライン」（☎0120-154-052）
2020年9月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で1,237件の相談が寄せられ、昨年の907件より約1.4倍、330件増加であった。年代別では、40代、50代が全体の約半数を占めた。
- 業種別では、先月に続き「医療・福祉」が最も多くなり、160件（18.5%）であった。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」（193件・15.6%）が最も多く、「解雇・退職強要・契約打切」（162件・13.1%）、「雇用契約・就業規則」（102件・8.2%）が続いた。先月と順位は同じであった。
- 具体的な相談では、「小売業でアルバイトをしていたが、コロナ禍の影響で『無期限でお休み』と言われたが、解雇と同じ状態。解雇予告手当や休業補償など払われるべきなのではないか」、「旅行代理店で働くが、GOTOトラベルの前は減給され、GOTOトラベルが始まった途端、サービス残業をさせられている」といった、依然としてコロナ禍の影響に関する相談が寄せられた。

		2020年			2019年		
集計対象期間		9月1日～9月31日			9月1日～9月30日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,237			907		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	593	47.9%	男性	448	49.4%	
	女性	644	52.1%	女性	458	50.5%	
	その他	0	0.0%	その他	1	0.1%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.5%	10代	7	1.4%	
	20代	104	13.4%	20代	55	10.7%	
	30代	152	19.5%	30代	94	18.3%	
	40代	202	26.0%	40代	150	29.2%	
	50代	193	24.8%	50代	134	26.1%	
	60代	102	13.1%	60代	61	11.9%	
	70代	21	2.7%	70代	13	2.5%	
雇用形態 (未報告除く)	正社員	616	49.8%	正社員	473	52.1%	
	パートタイマー	210	17.0%	パートタイマー	149	16.4%	
	アルバイト	81	6.5%	アルバイト	50	5.5%	
	契約社員	101	8.2%	契約社員	74	8.2%	
	臨時・非常勤職員	5	0.4%	臨時・非常勤職員	5	0.6%	
	嘱託社員(再雇用含)	20	1.6%	嘱託社員(再雇用含)	9	1.0%	
	派遣社員	78	6.3%	派遣社員	60	6.6%	
	その他	126	10.2%	その他	87	9.6%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	160	18.5%	医療・福祉	118	19.9%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	140	16.2%	サービス業(他に分類されないもの)	90	15.2%
	3位	製造業	125	14.5%	製造業	88	14.8%
	4位	卸売・小売業	112	13.0%	卸売・小売業	70	11.8%
	5位	運輸業	68	7.9%	運輸業	60	10.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	193	15.6%	パワハラ・嫌がらせ	123	13.6%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	162	13.1%	解雇・退職強要・契約打切	97	10.7%
	3位	雇用契約・就業規則	102	8.2%	雇用契約・就業規則	90	9.9%
	4位	退職手続	74	6.0%	退職手続	83	9.2%
	5位	年次有給休暇	65	5.3%	年次有給休暇	70	7.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	18	1.7%	新聞・雑誌	29	3.6%	
	ラジオ・テレビ	14	1.3%	ラジオ・テレビ	4	0.5%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	61	5.7%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	68	8.5%	
	ホームページ	721	67.8%	ホームページ	503	63.1%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	18	1.7%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	10	1.3%	
	紹介	127	11.9%	紹介	89	11.2%	
	その他	105	9.9%	その他	94	11.8%	

【参考】2020年9月 連合本部 インターネット労働相談受付件数131件(2019年9月:63件)